

# 発話文から読み取れる発話者の感情<sup>1</sup>

—感情的プロソディ認知課題開発のための基礎的研究—

高橋知音	教育科学講座
仲島光比古	教育学研究科
中村晃子	富山大学附属病院

キーワード：感情認知，プロソディ，広汎性発達障害，アセスメント

## 1 問題と目的

言語によるコミュニケーションにおいては、字義通りの意味だけではなく、その他の非言語的な要素も重要な役割を担っている。例えば、表情やジェスチュアなどの視覚情報、イントネーションや声の大きさ等の聴覚情報から相手の感情や意図を推測する場面も少なくない。これらの情報は、皮肉やユーモアのように発話の字義的な意味と発話者の感情や意図が異なる場合がある表現を理解する上でとりわけ重要である。これら非言語的情報の中にプロソディがある。プロソディとは、イントネーションや音の高低やアクセントによって意味を伝達する話し方の特性である (Trauner, Ballantyne, Frideland & Chase, 1996; Van Der Meulen, Jansen, & Os, 1997)。その中でも特に感情や意図を表すものを感情的プロソディ (emotional prosody) と言う。

高機能自閉症やアスペルガー症候群のある者は感情的プロソディの理解に困難を示すとされている。それを検討するために、Rutherford, Baron-Cohen, & Wheelwright (2002) は The Voice Test を開発した。The Voice Test は大学生や成人を対象とした感情認知検査であり、音声刺激から発話者の感情を推測する能力を測定する検査である。被験者は音声刺激を聞き、その発話者の感情を推測し、2語の感情語の中からより発話者の感情に近いと思う1語を選択するという形式で回答させ、プロソディ認知能力を測定する。しかし、The Voice Test には、字義のみで正答が推測できる項目が含まれるなど、刺激文や選択肢が十分統制されていないため得点の高低差の解釈が十分にできないという限界がある。

原田 (2002)、高橋・原田(2000)によるプロソディ認知課題は、プロソディが文の字義と一致している場合 (一致条件)、一致していない場合 (不一致条件)、文の言語内容そのものは感情を示さないが声は感情を示す場合 (ニュートラル条件) の3条件から構成されている。その結果、アスペルガー症候群と診断を受けた対象児が、不一致条件において健常児よりも成績が大きく劣っていることを示し、自閉症者は音声情報よりも言語の文字通りの意味に頼って感情を推測する傾向があることを示した。

ここで設定された3条件は、感情理解能力を評価する上で貴重な情報を与えてくれる。一致条件は、文意およびプロソディの二つの手がかりから発話者の感情を推測できるため、被験者は容易に正しい感情を推測できるはずである。この条件の課題に対して正しい感情が選択できないとしたら、選択肢にある感情の理解自体に困難がある可能性がある。つまり、この条件は、被験者が選択肢となる感情語を正しく理解できているかどうかを判断する手がかりとなる。

不一致条件は、字義から推測される感情ではなくプロソディに注意を向けて判断しなければなら

<sup>1</sup> 本研究は、平成16～18年度科学研究費補助金 (若手研究(B)課題番号16730348) の助成を得て実施された。

い。感情表出においては、字義と感情的プロソディが一致していない場合、プロソディの方に本来の発話者の感情が反映されている。したがって発話者の感情を正確に理解するためには、文意とプロソディから推測される感情を同時に処理しながら、字義から判断した感情は抑制してプロソディから判断した感情を正答として選択しなければならない。広汎性発達障害のある者においては、相手の発話を字義通りに受け取るという特徴から、このような状況における感情の読み取りは困難であると考えられる。

上の特徴から、純粋に感情的プロソディが理解できるかどうかを検討するためには、発話文自体は特定の感情と結びついていないような発話が必要である。発話文自体に感情推測の手がかりとなる情報が含まれていなければ、その判断をプロソディに頼らざるを得なくなる。

以上のような3つの条件を設定することで、感情語の概念自体が正しく理解できているのか、プロソディによる感情の判断が可能なのか、字義に惑わされずにプロソディから感情を読み取ることが可能なのかという、3段階の感情認知能力を評価することができる。原田(2002)、高橋・原田(2000)の課題は幼児、児童用に作成されたものであるため、青年期以降の発達段階の対象者に用いるには内容が不適切である。そこで、青年期以降の被験者を対象として実施するのにふさわしい内容の課題を新たに作成する必要がある。そのためには、発話文自体からどの程度感情を読み取れるかということについての情報が必要となる。そこで本研究では、特定の感情が読み取れる、もしくは読み取れない発話文のリストを作成し、感情を読み取れる発話文については、どのような感情がどの程度読み取れるのかということを明らかにすることを目的とした。

## 2 研究1：発話文の選定

### (1) 目的

研究1では、プロソディ認知課題を作成するための材料となるような、発話文自体から感情を読み取れるもしくは読み取れないものを選び、リストを作成することが目的である。

### (2) 方法

#### ①被験者

大学生40名(男子20名、女子20名)を被験者とした。被験者の年齢は18歳から25歳の範囲であった。

#### ②材料

発話文からどんな感情が読みとれるかを尋ねる質問紙を作成した。質問項目である発話文は、10代後半から20代の青年が日常生活で話したり、聞いたりして不自然と感ぜない文であり、かつ一言で感情や意志が伝わるような文という基準で、小説なども参考に71の短文を選定した(表1)。

これらの短文には、字義から発話者の感情が推測しやすい文と、字義だけでは発話者の感情を推測しにくい文の数がほぼ2:1の割合になるようにした。前者の例としては「いいレストランだね」があり、後者の例としては「私A型なんだよね」がある。また、発話者の性差の影響を無くすために、男性特有の表現や女性特有の表現は極力少なくするように配慮し、選定した女性特有の刺激文と男性特有の表現については同数になるようにした。

これらの各文について、どのような感情が読み取れるか判断してもらう質問紙を作成した。質問紙への回答形式は、語彙力や表現力の個人差の影響を極力少なくするために、基本的な感情とみなされ

ている 11 の感情語と「特に読みとれない」、「その他」を選択肢にした (図 1)。選択肢の 11 の感情語は、原田 (2002), F&T 感情識別検査 (向後・越川, 2000), Plutchik (1980) の感情分類による基本感情を参考に選んだ。「その他」には感情語が複数個書けるようスペースを設け、選択肢にない感情を思い浮かべた被験者がそれを記入できるよう配慮した。自由記述の際の参考のために、感情語リストも同時に呈示した。感情語リストの感情語は、基本感情と分類されていることは少ないが、日常生活に頻出するだろうと考えられた 12 の感情語を選んだ (愛, 憧れ, 賞賛, 嘆願, 後悔, 恐怖, 焦燥, 罪, 恥, 受容, 高慢, からかい)。また、質問紙では、文の字義のみを純粹に判断して欲しいという意図から文の最後の「。」「?」「!」等の表記は避けた。発話文はその前後の文とのつながりによって、特定の状況が想起されることもありうる。質問紙を作成する際には、前後の文のつながりで特定の状況や意味のある会話場面を想起させることがないように配慮して呈示順を決めた。

表 1 発話文リスト

1 今日は何しようかなあ	37 気にしなくていいよ
2 全然知らなかった	38 ちょっと休んだら
3 私のせいにされているのかなあ	39 ごめんなさい
4 勝手な人だな	40 寒いから中に入りなさい
5 お疲れ様でした	41 信じられない
6 そんなんじゃないよ	42 全然よくないよ
7 冗談でしょ	43 今、急いでるんだ
8 とても楽しかったよ	44 気をつけてね
9 あんな言い方するなんて	45 嘘ばかり
10 これおいしいね	46 終わっちゃった
11 さすがだね	47 意地悪だね
12 聞いてないよ	48 それって意味ないよ
13 ちょっと待ってて	49 どこ行っちゃったんだろう
14 雨やまないね	50 はじめまして
15 まだ間に合うよ	51 開けっ放しだ
16 大変お世話になりました	52 そろそろ帰ります
17 いい眺めだね	53 ずっと探してたんですよ
18 いったいどういう意味	54 早く帰りたいなあ
19 いい加減にしろよ	55 なんだか熱っぽい気がする
20 よろしく願います	56 早く行かなくちゃ
21 大丈夫ですよ	57 おめでとうございます
22 久しぶりだね	58 よかったじゃない
23 いえ、結構です	59 じゃあ仕方ないな
24 本当にそれでいいの	60 来るとは思ってなかったよ
25 困った人だね	61 約束してくれる
26 よく勉強してるね	62 明日の集合時間何時だっけ
27 そんなことあるわけないだろ	63 気がつかなかったよ
28 勤がいいなあ	64 さあ、よくわかんない
29 用事ってそれだけですか	65 お願いだからまじめに聞いて
30 もう少し大きな声で話してください	66 何をしてるんですか
31 何してるの	67 どっちでもいいよ
32 必ず来てね	68 それはよかった
33 あっという間だよ	69 こちらこそありがとう
34 ちょっと心配だね	70 もうだめだ
35 もっと早く来るべきだったね	71 気持ちいいなあ
36 なんだか気味が悪いよ	

1 「今日は何しようかなあ」	喜び 楽しみ 安心 感謝 驚き 怒り 苛立ち 悲哀 不安 嫌悪 軽蔑 特に読みとれない その他_____
2 「全然知らなかった」	喜び 楽しみ 安心 感謝 驚き 怒り 苛立ち 悲哀 不安 嫌悪 軽蔑 特に読みとれない その他_____

図1 研究1 質問紙の回答欄

## ③手続き

縁故法により、信州大学の学生をはじめ他大学の学生にも調査への協力を依頼した。第1調査質問紙には、「この調査は言葉に込められた感情に関する調査です。以下の言葉を見て、発話者がどんな気持ちでその言葉を言ったのかを推測し答えてください。正しい答えや間違った答えなどはありません。一般的な解釈ではなく、あなたの直感のまま答えて下さい。」という教示文を示した。また、「例のように、選択肢から当てはまると思われる感情を選び○をつけて回答して下さい。複数の感情が読みとれた場合には、その全てに○を付けて下さい。ただし、言葉から特定の感情が読みとれない場合は「特に読みとれない」を、選択肢に適切な回答がないと思われた場合、以下の“感情語リスト”から選択するか、自分の言葉で「その他\_\_\_\_\_」に記入して下さい。」という回答方法についての記述も併記した。

## (3) 結果

データを集計した結果、選択肢や感情語リストに含まれていない感情語が「その他」の欄で73語出てきた。その73語を表2に示す。

表2 選択肢「その他」で出てきた感情語

励まし	別れ	かわいい	祝福
心配	あきた	感心	関心
あきらめ	病気	爽快感	樂觀
不信	質問	罪悪感	どうでもいい
謝罪	嫉妬	援護	感動
絶望	支援	不満	怠惰
希望	残念	親しみ	苦
期待	ねたみ	疲労	祝い
謙遜	ショック	あせり	感激
憎しみ	なぐさめ	悲願	リラックス
満足	反省	暇	あきらめない気持ち
ゆううつ	つまらない	謙虚	義務感
思いやり	無関心	好奇心	頼れる感じ
落胆	呆れ	悲しみ	申し訳ない
喪失	寂しい	親愛	恋心
拒否	労い	愛情	投げやり
疑問	興味	解放感	
尊敬	激励	不気味	
やさしさ	批判	安らぎ	

しかし、表 2 の中には選択肢や感情語リストにあるにある感情語と同義だと思われるものがあったり、「その他」内に同義だと思われる感情語があったりした。検討の結果 13 語の感情語を他の感情語と同義とみなした。表 3 はその詳細を示しており、矢印の左側の感情語を矢印の右側の感情語に置き換えカウントしたということを示している。

表 3 置き換えを実施した感情語

支援	→	励まし
なぐさめ	→	励まし
激励	→	励まし
援護	→	励まし
思いやり	→	やさしさ
期待	→	希望
罪悪感	→	罪
申し訳ない	→	罪
あせり	→	焦燥
悲しみ	→	悲哀
悲願	→	嘆願
親愛	→	愛
愛情	→	愛

結果の集計に当たって、表 2 の感情語のほとんどは「その他」としてカウントしたが、頻繁に出現した感情語は「その他」としてカウントせず、その感情語の欄を新しく設けカウントした。頻繁に出現した感情語とは「励まし」、「心配」、「あきらめ」、「絶望」、「希望」、「尊敬」、「やさしさ」の 7 語である。

#### ①感情が読み取れる発話文の選定

71 項目のうち、最も選択率が高かった選択肢の選択率（一致率）が 70% 以上のものは 25 項目であった（表 4）。これらを特定の感情が読み取れる発話文とした。

#### ②感情が読み取れない発話文の選定

発話文の評定データの分析を進める中で、特定の感情が読み取れない文において 2 つの異なる反応パターンが示された。1 つ目はなんらかの感情は読みとれるが、その感情が個人間でばらつくというもので、2 つ目は文からは感情が全く読みとれないというものであった。そこで、以下、この 2 パターンのうち前者を「感情分散発話文」、後者を「無感情発話文」と呼ぶことにし、別々にそれぞれの項目を選定した。

#### ③感情分散発話文の選定

質問紙に用いた全 71 項目から一致率が 50% 以下の項目を抜き出したところ、22 項目あった。そのリストを検討し、最終的に 15 項目を選定した。選定の基準の第 1 は、字義が真に複数の感情に分散しているといえるのかどうかということであった。第 2 として、感情語リスト上の感情語や、「その他」の欄で出てきた感情語にも注目し、「該当する感情語が選択肢にないために一致率が上昇しなかった」という可能性が考えられる項目は選ばなかった。また、「怒り」と「苛立ち」で分散している等、類似した感情間での分散は分散とみなさないことにした。最終的に選定した 15 項目を表 5 に示す。表中の「感情」の欄は各刺激文における最高選択率（一致率）を示した感情語を示し、その値も示した。

表 4 特定の感情が読み取れる発話文

項目	感情	一致率(%)
大変お世話になりました	感謝	100.0
ちょっと心配だね	不安	97.5
私のせいにされているのかなあ	不安	95.0
いい加減にしろよ	怒り	95.0
どこ行っちゃったんだろう	不安	95.0
こちらこそありがとう	感謝	92.5
なんだか熱っぽい気がする	不安	87.5
これおいしいね	喜び	85.0
信じられない	驚き	85.0
全然知らなかった	驚き	82.5
おめでとうございます	喜び	82.5
気持ちいいなあ	喜び	82.5
今日は何しようかな	楽しみ	80.0
勝手な人だな	苛立ち	80.0
いい眺めだね	喜び	77.5
久しぶりだね	喜び	77.5
約束してくれる	不安	77.5
お願いだからまじめに聞いて	苛立ち	77.5
とても楽しかったよ	喜び	75.0
聞いてないよ	驚き	75.0
来るとは思ってたよ	驚き	75.0
それはよかった	安心	75.0
お疲れ様でした	感謝	72.5
なんだか気味が悪いよ	不安	72.5
勘がいいなあ	驚き	70.0

表 5 感情分散項目

項目	感情	一致率(%)	特に読みとれない(%)
そろそろ帰ります	安心・感謝・不安	10.0	47.5
ちょっと待ってて	焦燥	20.0	62.5
寒いから中に入りなさい	苛立ち	20.0	22.5
さあ、よくわかんない	苛立ち・不安	22.5	35.0
あっという間だよ	楽しみ	25.0	45.0
気にしなくていいよ	受容	25.0	25.0
いえ、結構です	苛立ち	27.5	40.0
よろしく願います	感謝	33.3	17.9
どっちでもいいよ	苛立ち	35.0	35.0
開けっ放しだ	苛立ち・不安	35.0	30.0
何してるの	楽しみ	35.0	27.5
よく勉強してるね	驚き	40.0	7.5
はじめまして	楽しみ	42.5	32.5
大丈夫ですよ	安心	45.0	22.5
ずっと探してたんですよ	安心	50.0	0.0

## ④無感情発話文の選定

研究1では無感情発話文という設定をしていなかったため、「特に読みとれない」の一致率が十分に高い感情語は少なかった。中には「ちょっと待ってて (62.5%)」のように、ある程度一致率が高い項目も見られたが、第1調査から、無感情条件の刺激を選定することはしないことにし、研究2であらためて発話文を作成することにした。

### 3 研究2：発話文から読み取れる感情

#### (1) 目的

研究2では、感情的プロソディ認知課題の回答形式に沿った選択肢を設定し、音声情報を含まない発話文から実際にどのような感情が選択されるのかを確認することを目的とする。同時に、感情分散発話では特定の選択肢に回答が集中しないこと、無感情発話では感情が読み取れないことを確認することが目的である。

#### (2) 方法

##### ①被験者

大学生42名（男子21名、女子21名）を被験者とした。被験者の年齢は19歳から25歳の範囲であった。

##### ②材料

第1研究で用いた質問紙の刺激文や選択肢を改良した質問紙を使用した。項目は感情が読み取れる発話25項目、感情分散発話15項目、無感情発話19項目の計59項目で構成した。

無感情条件の刺激文は、他の条件の質問項目同様に、10代後半から20代の青年が日常生活で聞いても不自然さを感じないような文であり、小説から抜き出したり、著者らのブレイン・ストーミングを行ったりすることにより作成した。無感情条件の刺激文を表6に示す。

表6 無感情条件の刺激文

明日の集合時間は8:00だよ 10月で22歳になりました 蛍光灯切れてるよ 今日何日だっけ あの人名前なんだっけ 誰かから電話来なかった これいくらですか トイレ貸してくれる ちょっと出かけてくるね 差し入れに来ました 荷物おろしてくるね コンビニが近くにあるよ サイズはA4をお願いします 白いシャツを着てるよ となりの家には犬がいるよ 3人きょうだいですよ 駅まで10分くらいです 今日は電車で来たんだ 明日はゴミの日です
---

選択肢は、次のようにして設定した。まず、最高一致率を示した感情語を正解として含む。次に、プロソディからは区別が困難と思われる感情同士を1つの項目の選択肢に含まないということである。第1研究の質問紙には11の感情語が選択肢になっていたが、例えば、「喜び」、「楽しみ」、「安心」、「感謝」のプロソディは区別することができないと判断した。また、「怒り」と「苛立ち」、「悲哀」と「不

安」,「嫌悪」と「軽蔑」のプロソディもその違いがわかりにくいと考えた。そこで11の選択肢を「喜び, 楽しみ, 安心, 感謝」,「驚き」,「怒り, 苛立ち」,「悲哀, 不安」,「嫌悪, 軽蔑」の5群に分けた。各発話文に対し, それぞれの群から1つずつ感情語を選んだ。各群の中から選択肢を選ぶ際, 選択肢に出現する11の感情語が極端に偏らないようにするということを目指した。このように, 最終的な質問紙においては, 各項目ごとに選択肢が異なっていた。

研究2で用いた質問紙では音声情報がないために, 無感情発話では特定の感情を選択することはできない。そこで, 選択肢として選んだ感情語5項目に「特に読みとれない」を加えた6項目を最終的な選択肢とした。質問紙の形式を図2に示した。

1	「明日の集合時間は8:00だよ」	楽しみ	驚き	怒り	不安	軽蔑	特に読みとれない
2	「なんだか熱っぽい気がする」	楽しみ	驚き	苛立ち	不安	軽蔑	特に読みとれない

図2 第2研究の質問紙の回答欄

### ③手続き

縁故法により, 信州大学の学生をはじめ他大学の学生にも調査への協力を依頼した。第2研究の質問紙には, 「この調査は言葉に込められた感情に関する調査です。以下の言葉を見て, 発話者がどんな気持ちでその言葉を言ったのかを推測し答えてください。正しい答や間違った答などはありません。一般的な解釈ではなく, あなたの直感のまま答えて下さい。」という第1研究と同様の教示文を示した。しかし, 回答方法が第1研究と若干異なるので, 回答方法についての記述は次のように記した。「例のように, 発話者の感情に最も当てはまると思われる感情語を選択肢から1つだけ選び, ○を付けて下さい。ただし, 言葉から特定の感情が読みとれない場合は「特に読みとれない」に○を付けて下さい。」

### (3) 結果

各発話文における選択肢ごとの選択率(%)を表7に示す。

#### ①感情が読み取れる発話文

感情が読み取れる発話文の選定にあたって, まず一致率が70%以上であるものを選んだ。表7より, この条件に当てはまる項目は, 22項目であった。削除された項目のうち, 項目50「信じられない」については感情分散項目として採用する事にした。

#### ②感情分散発話

感情分散発話選定の基準は, 感情語における最高選択率が50%未満であり, かつ選択肢「特に読みとれない」の選択率が60%未満であることを前提条件とした。表3-7より, この条件に当てはまる項目は, 第1研究で感情分散項目として選定した15項目中の9項目と, 第1研究で特定の感情が読み取れる発話文として選定した項目50, 第1研究で無感情項目として選定した項目1, 項目8の計12項目であった。



表 7 各発話文における選択肢ごとの選択率

質問項目	選択肢ごとの選択率					
なんだか熱っぽい	楽しみ	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
気がする	0.0	0.0	2.4	95.2	0.0	2.4
勘がいいなあ	安心	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	4.8	76.2	0.0	0.0	2.4	16.7
これおいしいね	喜び	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	88.1	9.5	0.0	0.0	0.0	2.4
どこ行っちゃったんだらう	楽しみ	驚き	苛立	不安	嫌悪	なし
	0.0	2.4	7.1	90.5	0.0	0.0
こちらこそありがとう	感謝	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	92.9	2.4	0.0	0.0	2.4	2.4
とても楽しかったよ	喜び	驚き	怒り	悲哀	軽蔑	なし
	97.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
大変お世話になりました	感謝	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	97.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
いい加減にしろよ	喜び	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	0.0	0.0	92.9	2.4	4.8	0.0
ちょっと心配だね	楽しみ	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	0.0	0.0	2.4	90.5	0.0	7.1
お願いだからまじめに聞いて	安心	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	0.0	2.4	81.0	9.5	4.8	2.4
いい眺めだね	喜び	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	76.2	16.7	0.0	0.0	0.0	7.1
私のせいにされているのかなあ	安心	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	0.0	0.0	7.1	92.9	0.0	0.0
久しぶりだね	喜び	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	73.8	23.8	0.0	0.0	0.0	2.4
全然知らなかった	楽しみ	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	2.4	81.0	2.4	9.5	0.0	4.8
聞いてないよ	楽しみ	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	0.0	28.6	54.8	16.7	0.0	0.0
おめでとございま	喜び	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
す	97.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
来るとは思ってたよ	安心	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	0.0	83.3	0.0	2.4	14.3	0.0
気持ちいいなあ	喜び	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
今日は何しようかな	楽しみ	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	78.6	0.0	2.4	0.0	0.0	19.0
勝手な人だな	感謝	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	0.0	0.0	71.4	2.4	26.2	0.0
信じられない	感謝	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	0.0	47.6	28.6	2.4	19.0	2.4
約束してくれる	感謝	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	9.5	2.4	2.4	73.8	0.0	11.9
お疲れ様でした	感謝	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
なんだか気味が悪いよ	安心	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	0.0	0.0	2.4	64.3	31.0	2.4
それはよかった	安心	驚き	怒り	悲哀	軽蔑	なし
	95.2	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4

質問項目	選択肢ごとの選択率					
そろそろ帰ります	喜び	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	4.8	0.0	9.5	14.3	7.1	64.3
よく勉強してるね	安心	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	21.4	61.9	2.4	0.0	4.8	9.5
気にしなくていいよ	安心	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
	33.3	0.0	7.1	4.8	11.9	42.9
開けっ放しだ	喜び	驚き	怒り	悲哀	軽蔑	なし
	0.0	23.8	61.9	4.8	4.8	4.8
はじめまして	楽しみ	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	52.4	0.0	0.0	0.0	0.0	47.6
大丈夫ですよ	感謝	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	21.4	0.0	4.8	7.1	2.4	64.3
ずっと探してたんですよ	安心	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	42.9	7.1	23.8	11.9	4.8	9.5
よろしくお願いします	感謝	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	28.6	0.0	0.0	19.0	0.0	52.4
ちょっと待ってて	楽しみ	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
	16.7	4.8	2.4	19.0	0.0	57.1
さあ、よくわかんない	喜び	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	0.0	2.4	26.2	19.0	26.2	26.2
あつという間だよ	楽しみ	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	28.6	26.2	2.4	2.4	0.0	40.5
いえ、結構です	感謝	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	11.9	0.0	14.3	2.4	54.8	16.7
何してるの	楽しみ	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	19.0	9.5	14.3	16.7	4.8	35.7
寒いから中に入りなさい	安心	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	19.0	4.8	42.9	4.8	0.0	28.6
どっちでもいいよ	楽しみ	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	7.1	0.0	23.8	9.5	7.1	52.4

質問項目	選択肢ごとの選択率					
明日の集合時間は8:00だよ	楽しみ	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
	38.1	7.1	2.4	4.8	4.8	42.9
ちょっと出かけてくる	安心	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	21.4	2.4	0.0	7.1	0.0	69.0
蛍光灯切れてるよ	楽しみ	驚き	怒り	悲哀	軽蔑	なし
	0.0	11.9	14.3	9.5	4.8	59.5
あの人名前なんだっ	喜び	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
	0.0	2.4	2.4	38.1	4.8	52.4
今日何日だっけ	楽しみ	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	0.0	2.4	2.4	21.4	2.4	71.4
トイレ貸してくれる	感謝	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	7.1	0.0	4.8	0.0	2.4	85.7
荷物おろしてくるね	安心	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	4.8	2.4	4.8	0.0	2.4	85.7
差し入れにきました	喜び	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
今日は電車で来たんだ	安心	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	7.1	11.9	2.4	0.0	2.4	76.2
白いシャツを着てるよ	安心	驚き	怒り	不安	嫌悪	なし
	4.8	4.8	0.0	0.0	2.4	88.1
となりの家には犬がいるよ	喜び	驚き	怒り	悲哀	軽蔑	なし
	7.1	19.0	0.0	0.0	2.4	71.4
コンビニが近くにある	喜び	驚き	苛立	悲哀	嫌悪	なし
	11.9	7.1	0.0	0.0	0.0	81.0
3人きょうだいですよ	喜び	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	7.1	9.5	7.1	0.0	0.0	76.2
駅まで10分くらいです	感謝	驚き	怒り	悲哀	嫌悪	なし
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
誰かから電話来なかった	喜び	驚き	苛立	不安	軽蔑	なし
	0.0	0.0	19.0	54.8	0.0	26.2
明日はゴミの日です	感謝	驚き	苛立	不安	嫌悪	なし
	0.0	4.8	2.4	7.1	0.0	85.7
10月で22歳になりました	感謝	驚き	苛立	悲哀	軽蔑	なし
	35.7	7.1	0.0	4.8	0.0	52.4
これいくらですか	楽しみ	驚き	苛立	不安	嫌悪	なし
	2.4	4.8	2.4	23.8	0.0	66.7
サイズはA4でお願いします	感謝	驚き	怒り	不安	軽蔑	なし
	4.8	0.0	0.0	4.8	2.4	88.1

無感情発話

### ③無感情発話

無感情発話の選定基準は「特に読みとれない」における選択率が70%以上であることとした。この条件に当てはまる項目は19項目中の11項目であった。

## 4 結論

本研究では2段階の感情評定質問紙調査を経て、特定の感情が読み取れる発話文と読み取れない発話文を選定することができた。第1研究において一致率が70%を超えている発話文であっても、選択肢の変更などにより、必ずしも第2研究で特定の感情を読み取れない場合もあるということが示された。感情が読み取れない発話については、反応のパターンから感情分散発話と無感情発話に分けることができた。第2研究で新たに設定した無感情発話についても、十分な項目数を確保することができた。

これまで開発された発話文を聴いて感情を推測する課題では発話文自体の統制がほとんど行われてこなかったが、今回のデータに基づいて感情認知課題を作成すれば、被験者の感情認知能力についてさらに詳しい検討が可能になるとと思われる。

### 引用文献

- 原田あきを 2002. 非言語手がかりによる感情認知能力の発達的变化 平成13年度信州大学大学院教育学研究科学位論文(未公刊).
- 向後礼子・越川房子 2000. 知的障害者の非言語的コミュニケーション・スキルに関する研究 障害者職業総合センター.
- Plutchik, R. 1980. *Emotion—A psychorevolutionary synthesis*. Harper & Row.
- Rutherford, M. D., Baron-Cohen, S., & Wheelwright, S. 2002. Reading the Mind in the Voice: A Study with Normal Adults and Adults with Asperger Syndrome and High Functioning Autism. *Journal of Autism & Developmental Disorders*, 32, 189-194.
- 高橋知音・原田あきを 2000. 幼児と学習障害児におけるプロソディ認知 日本カウンセリング学会第33回大会発表論文集 216-217.
- Trauner, D. A., Ballantyne, A., Friedland, S., & Chase, C. 1996. Disorders of affective and linguistic prosody in children after early unilateral brain damage. *Annals of Neurology*, 39, 3, 361-367.
- Van der Meulen, S., Jansen, P., & Os, E. 1997. Prosodic abilities in children with specific language impairment. *Journal of Communication Disorders*, 30, 155-170.

(2006年5月25日 受理)